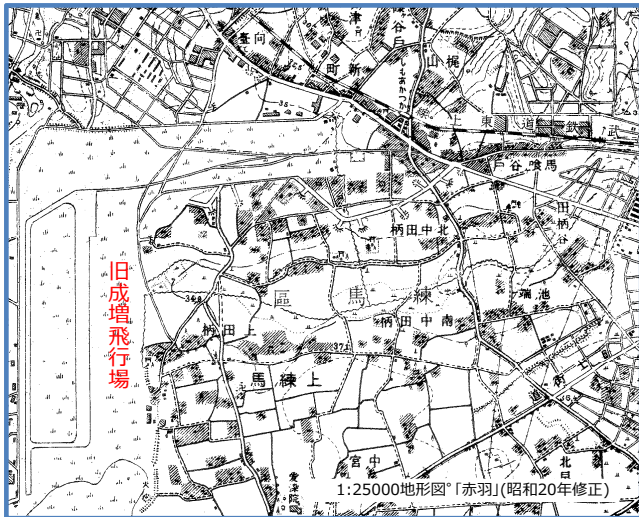


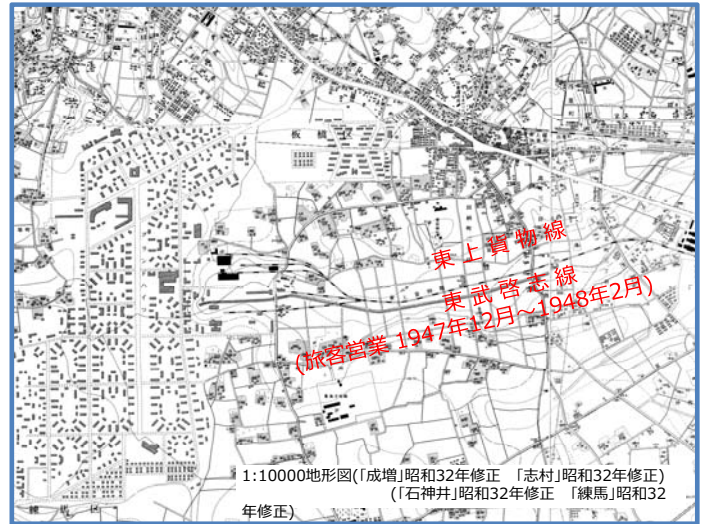
グラントハイツから公園・住宅団地へ

(光が丘公園・光が丘団地(東京都板橋区))

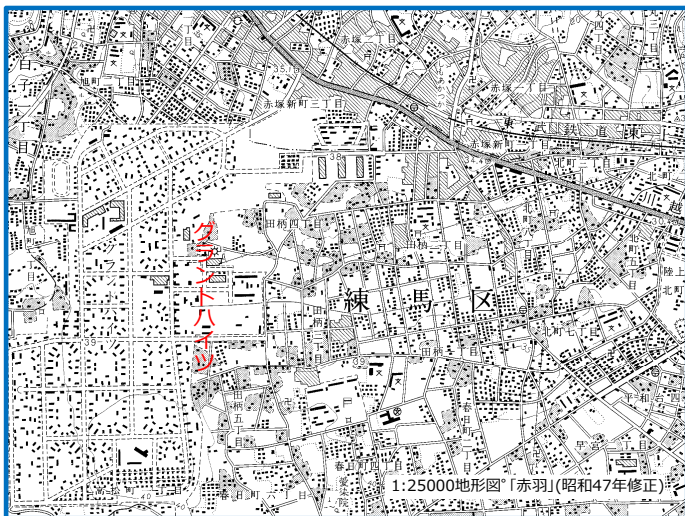
「光が丘」は、第二次世界大戦の戦前戦中には日本軍の飛行場、戦後は米軍宿舎(グラントハイツ)として利用されてきました。さらに返還後、公園・住宅団地へと大きく変化しました。



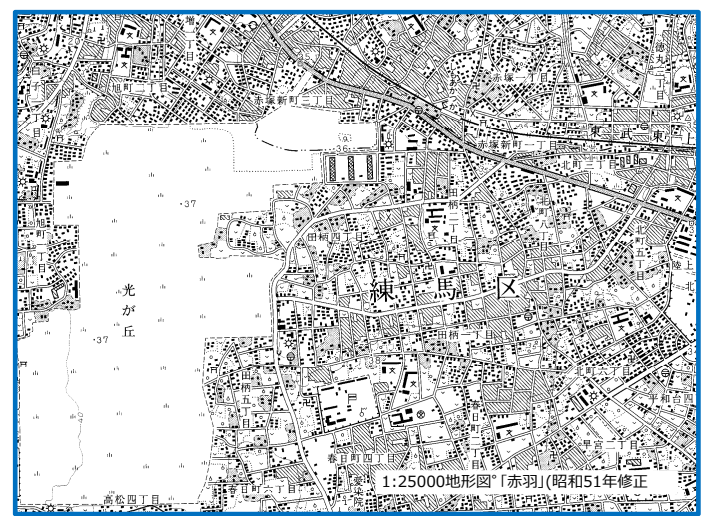
広い空地は「成増飛行場」の跡地でした。



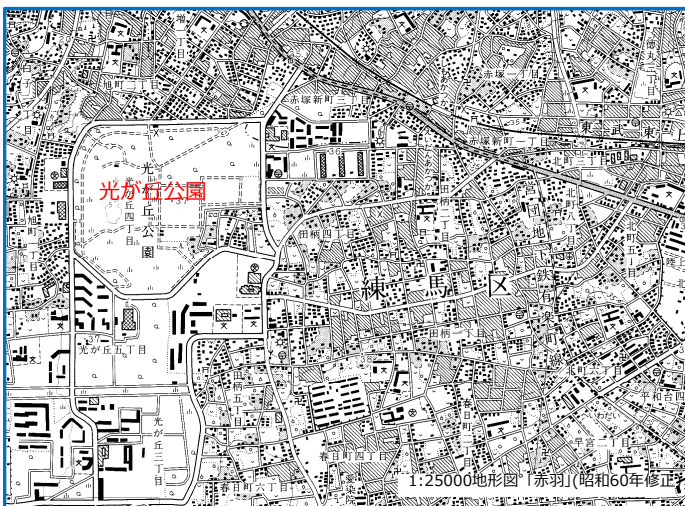
グラントハイツが建設され、住民用の足として、東武啓志線が延びていました。



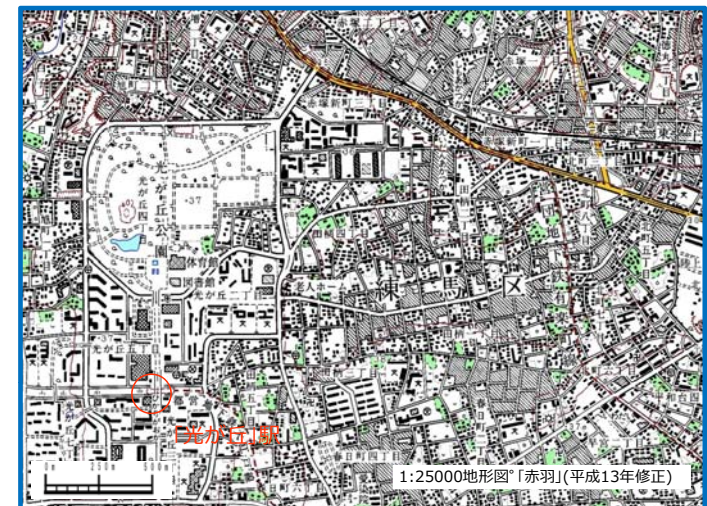
グラントハイツの周辺部は宅地開発が進みました。



1973(昭和48)年に米国から全面返還され、元の広大な空き地となりました



地域一体開発のため、北側に「光が丘公園」が整備されましたが、南側にはあまり住宅が見られませんでした。



南側に都営地下鉄大江戸線が1991(平成3)年に開通するなど、住宅が整備されてきました。